

公共事業再評価調書（県土整備部）

部課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 原口和夫 (安倍 茂)	内線	4362 (4374)
------	-------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約 1 3 0 億円																
		国道 2 号 姫路西拡幅	姫路市今宿 ~ 姫路市青山																		
所 在 地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度	進捗率															
姫路市今宿 ~ 青山			H 3	H 3	H 1 9	6 2 %															
事 業 目 的				事 業 内 容																	
交通渋滞の解消及び交通安全の確保 ・ 現道拡幅（4車線化）による交通混雑の解消 ・ 歩道設置による快適で安全な歩行者空間の確保				道路改築 L = 2 , 1 2 0 m W = 2 7 m（4車線）																	
進捗状況		<p>交通渋滞の解消・交通安全の確保を図るため、平成3年度から現道拡幅事業に着手したが、移転を要する物件が多く、また、事業費も多額にのぼることから、日時を要しており、進捗率は62%である。</p> <p>2.1kmのうち、主要渋滞ポイント夢前橋西詰交差点を含む0.2kmを平成10年度に暫定供用（2車線）し、渋滞緩和を図ったところである。</p> <p>日本赤十字病院の平成13年度開院予定にあわせて、続く区間（L = 0.5km）を部分供用することを目標に事業を推進している。</p> <p>残るその他の区間についても用地交渉を開始しつつあり、段階的な供用を図り、平成19年度の完了を目指す。</p>																			
評価視点																					
(1)必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本区間には第3次渋滞対策プログラムに位置付けられた夢前橋西詰交差点、今宿交差点がある。 ・ 前後区間の混雑度は概ね1.0以下であるのに対し、本区間の混雑度は2.0を越えており、単路部での渋滞も著しい。 ・ 本区間は歩道が未整備な箇所があり、自転車・歩行者数も多く、交通事故が多発しており安全の確保は急務である。 <p>【参考】事業区間における事故発生件数等（姫路警察署調べ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H8</th> <th>H9</th> <th>H10</th> <th>H11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事故件数(件)</td> <td>50</td> <td>64</td> <td>44</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>死傷者数(人)</td> <td>60</td> <td>81</td> <td>59</td> <td>93</td> </tr> </tbody> </table>						H8	H9	H10	H11	事故件数(件)	50	64	44	67	死傷者数(人)	60	81	59	93
	H8	H9	H10	H11																	
事故件数(件)	50	64	44	67																	
死傷者数(人)	60	81	59	93																	
(2)有効性・効率性		・ 事業費は大きいですが、平成10年及び13年度の部分供用により段階的に早期効果の発現に努めている。																			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境の保全に配慮し、歩道部の透水性舗装、車道部の低騒音舗装を行ううえ、電線共同溝により景観等にも配慮する。 ・ 渋滞の解消に資することにより、大気汚染を軽減する。 																			
(4)優先性		・ 事業区間内には2箇所の主要渋滞ポイントがあり、早期に解消するため早急な整備が必要である。																			
県土整備部の考え方																					
評価の結果	継続	左の理由	上記理由により継続が妥当である。																		